

新居浜市政策懇談会 ワーキンググループ（第1部会 都市基盤）第2回会議 議事録

- 1 開催日時 令和2年1月16日（木） 13:30～15:20
- 2 開催場所 新居浜市市民文化センター別館1階第6中会議室
- 3 出席者
- | | | |
|----|--------------------------------|---------|
| 委員 | 新居浜建設業協同組合（座長） | 白石 誠 一 |
| 〃 | 新居浜管工事業協同組合 | 石 水 浩 臣 |
| 〃 | 新居浜商工会議所 | 白 石 尚 寛 |
| 〃 | （公社）愛媛県宅地建物取引業協会
新居浜地区連合協議会 | 菅 公 逸 |
| 〃 | （公社）新居浜青年会議所 | 三 木 悠 司 |
| 〃 | （公社）愛媛県建築士会新居浜支部 | 宮 崎 秀 俊 |
| 〃 | 住友金属鉱山(株)別子事業所 | 松 長 隆 志 |
| 〃 | 新居浜港振興協議会 | 杉 原 弘 紀 |
| 〃 | 新居浜市PTA連合会 | 白 石 哲 也 |
| 〃 | 新居浜市連合自治会 | 坂 上 公 三 |
| 〃 | 新居浜市土地改良協議会 | 福 本 頼 幸 |
| 職員 | 上下水道局次長兼下水道建設課長 | 秋 月 剛 |
| 〃 | 上下水道局次長兼水道工務課長 | 丹 下 輝 彦 |
| 〃 | 都市計画課長 | 神 野 幸 彦 |
| 〃 | 道路課長 | 三 谷 公 昭 |
| 〃 | 建築住宅課長 | 神 野 宏 |
| 〃 | 港湾課長 | 村 上 光 昭 |

4. 傍聴者 1名

議題	発言者	議事、発言内容
開会	事務局	
事務連絡	事務局	委員出欠報告。
座長あいさつ	白石座長	
議事1 施策体系検討ワークシートの内容検討		
(1)-1 土地利用	白石座長	事前にお配りしていたワークシートに対する意見を を公表していただきたい。 先ずは、土地利用について願います。
	白石尚寛委員	液状化に弱い地盤が存在するにも関わらず、対策 や周知がなされていない。 特に、沿岸部は他市町に比べ液状化が起りやす

		<p>く、広範囲で起こった場合、逃げられない、助けられない状況になる恐れがある。</p> <p>液状化を考慮して防災計画（避難経路、場所、若しくは避難しない等）を見直してはどうか。</p>
	白石座長	<p>液状化については、耐震岸壁が整備されているにもかかわらずアクセス道路が液状化する可能性があるという意見もある。耐震岸壁なのにそこまで行けないということでは困る。非常に重要であり取り組みをお願いします。</p>
	菅公逸委員	<p>企業用地が不足し、事業者が他市へ流出しているため、事業者のニーズを的確に捉え、事業活動を活発に図る基盤整備が必要であり、用途地域の見直しが必要と考える。</p> <p>また、1,000㎡程度の農地を所有する多くが、その利活用に苦慮し、耕作放棄地が拡大している。農業振興を図ることを前提にその利活用を検討し、耕作放棄地の解消を図る必要がある。具体的には、開発行為の許可面積を他市並みの3,000㎡にする、第2種及び第3種農地を拡大する等、農地の利活用を図り、農地転用可能な土地を増やす必要がある。農業の安定経営を推進するため、農作物以外の収入獲得も重要である。</p>
	白石座長	<p>企業用地の確保は、前回の「日本一子育てしやすい地域」（白石哲也委員）の観点から、人口減少対策にも繋がる。新たな企業用地の検討をお願いします。</p>
	三木悠司委員	<p>それぞれ居住している地域に愛着があるが、コンパクトなまちづくりは避けられない。コンパクトシティを目指す上でスポンジ化への取組として、立地適正化計画に基づく居住誘導区域における空き家や空き地をポケットパークや、近隣住民の交流施設としてはどうか。子育て世代には、相談する相手や、交流できる所があれば更に子育てがしやすく住みやすいというところに繋がるのではないか。そういった意味では、人と人の繋がりというところに着目してはどうか。</p> <p>住みやすいということでは、商店街の活性化も必要。大型商業施設も必要だが、やはり商店街というのは地元の人達がそこに暮らしながら営むということで、そういう人達を含めてのまちづくりを推進し</p>

		ていくのが良いのではないか。
	白石座長	これは中心商店街の活性化ということか。
	三木悠司委員	そうである。
	福本頼幸委員	高齢化や担い手不足により、市内各地に荒廃地が増加し、雑草が生えイノシシの住処になっている。放置していると子供たちが外で遊べない。行政や農業団体、地域を巻き込み、農業起業者を積極的に取り入れる施策が必要。県外からの移住の呼びかけや、行政による金銭的支援、農協による農業指導など、市全体で農業の再生が必要。
	白石座長	全国的に人間の生活圏に熊やイノシシ、鹿が出没する中、本市でもどうなるのか思う。空き家がイノシシの住処になることもあり、対策をお願いする。
	白石哲也委員	人口減少により市街地の空き家等が増加しており、子育て支援型の公営住宅、母子家庭や父子家庭が優先的に利用できる公営住宅を整備して欲しい。 入居条件を末っ子が中学校を卒業するまでに限定や、第2子・第3子出産者は安い負担で長く入居できるなど、子育てに特化した施設を提案したい。
	白石座長	これは、三木委員の意見にも繋がる。中心市街地では、1学年1クラスの学校もあり、人口バランスが極端になっている。市の政策は、高齢者も子育て世代も住める間取りになっているが、人口の移動も抑制できるよう場所を選定し、空き家対策も考慮することにより、コンパクトシティにも繋がる。子育て支援できる公営住宅や、子育てしやすい環境の住宅をお願いする。
	都市計画課長	コンパクトで魅力あるまちづくりを推進するため、立地適正化計画を策定し、4月に公表した。都市機能誘導区域を中心に、利便性の高いまちづくりを目指し、できる限りコンパクトにしていきたい。人口定住としては、若者世代の人口を維持するため子育て支援策が重要。防災・減災も必要であり、国土強靱化基本計画の策定を進めているところ。これからのインフラ整備や災害による人的被害をゼロにするための施策も重要。ハード施策だけでなく、ソフト施策が両輪となって、コンパクトシティを目指していきたい。
	白石哲也委員	ハザードマップで危険箇所を示しているが、対策

		を進めて危険箇所を縮小しようという姿勢が見えない。居住誘導区域に人口誘導するなら、そこへ誘導して被災したでは困る。ハザードマップにリンクした誘導施策をお願いする。
	白石座長	他意見はないか。※) 意見なし 次に、市街地整備についてお願いする。
(1)-2 市街地整備		
	福本頼幸委員	中心市街地周辺は、公共施設は多いが慢性的な駐車場不足であり、大規模イベント時には駐車場不足が深刻。ドームや文化センター周辺では、駐車場不足による違法駐車や渋滞が見られる。公共交通機関は便利が良いとは言えず、集客アップと公共施設の利用環境向上のほか、防災の観点からも相当広いスペースを確保する必要がある。新たな駐車場の整備や、公共施設整備時には相当の駐車場が必要。
	白石座長	中心商店街付近では、空き家が増えてきているが駐車場は少ない。活性化対策として、土地の整理も含めて取り組んでいかなければならない。
	白石尚寛委員	新居浜駅周辺は、南北が分断されているため、アンダーやオーバース等を含めて駅周辺の整備を進めて欲しい。市内外から、市の玄関口として非常に寂しいとの声も多い。是非とも取り組んで欲しい。
	菅公逸委員	新居浜駅の乗降客数の推移と他市との比較を表すデータを示して欲しい。年間約140～150万人の乗降客数があるが、駅南側の有効活用が図られていない。貨物ヤード移転をも考慮し、日々の動態人数が多い駅南側へ、工業都市として不可欠なコンベンション機能等を有し、賑わい創出の核施設として、アリーナ等の整備を進めてはどうか。 通信分野が5Gへと移行しつつある。工場が集積している本市においては、通信環境の優劣が事業活動を左右すると考えるが、担当部署が明確でないため事業が進まないのではないかと。5G基地局の整備を推進し、様々な分野での利活用を図り、5Gの先進地を目指す取り組みが必要。
	三木悠司委員	駅南の整備において、あかがねミュージアムを中心とし、駅舎も含めた駅周辺が一体となる整備を展開しなければ市内外から都市拠点として見られない。市民をはじめ、交流できる空間を形成しなけれ

		ばならない。
	福本頼幸委員	<p>駅南の整備は以前から話があるが、ここ数年話がなく、一向に進んでいない。どこまで駅南のことを考えているのか、どのようにしたいのか伺いたい。これまでと同じなら協議する必要がない。</p>
	都市計画課長	<p>新居浜駅は市の中心にあり、駅前地区の区画整理が完了してから10年近く経過した。駅周辺の整備は、駅南北の一体的なまちづくりを目指して実施するものであり、その中で、まずは第一段階として駅北側の面的整備が完了したところ。現在も駅周辺の整備を中断したわけではなく、今後も市の玄関口・交通結節点として、まちづくりを進めていく考えである。しかしながら、財政状況が逼迫しており、今後の大規模事業としては、駅南側の整備を含め、文化センター建て替え、総合運動公園構想があり、どのように取組んでいくか検討しているところ。公共施設の再編や、近隣市の同種の施設も踏まえ、市全体の観点から検討していく考えであり、これらは議会答弁もしている。</p> <p>駅周辺でお客様に楽しんでいただくためには、魅力ある核施設が必要であり、後押しをお願いしたい。</p>
	福本頼幸委員	<p>そのような考えであれば、報告があってしかるべき。何年も報告がない中、駅周辺の整備をしようというのではなく、報告していただきたい。</p>
	都市計画課長	<p>これまでもまちづくり校区懇談会等で説明してきたが、今後も適時適切に情報発信していきたい。</p>
	白石座長	<p>他意見はないか。※) 意見なし 次に、公園・緑地について願います。</p>
(1)-3 公園・緑地		
	白石尚寛委員	<p>子供が安心して遊べる公園を念頭において整備や修繕をして欲しい。夏場には日陰があり、水辺などで遊べる公園や、野良犬猫対策が施された砂場、ウッドチップの使用など。</p>
	福本頼幸委員	<p>芝生化やトイレの洋式化をお願いしたい。また、防犯上の観点からも防犯カメラを設置して欲しい。</p>
	都市計画課長	<p>小規模公園を含め、少しずつトイレの洋式化や防犯カメラを設置しているところ。施設の老朽化が進んでいる中、更新や改修を計画的に進め、安全安心して利用できるよう取り組んでいきたい。</p>

	三木悠司委員	<p>一部既存公園については抜本的に見直し、地域に即した再整備（ポケットパーク、高齢者向け健康遊具に特化等）を行いより利用される公園にすべき。</p> <p>また、立地適正化計画に即して居住誘導区域の拠点となるよう、乳幼児対象遊具がある公園等を整備し、より子育て世代が集える場所を確保。</p>
	白石座長	<p>三木委員の意見は、子供から高齢者まで全てが利用できるようにということか。</p>
	三木悠司委員	<p>近隣に高齢者が多いのであれば高齢者対象とし、子育て世代が多いのであれば小さい子供を対象として、それぞれに特化した整備をすることである。</p>
	白石座長	<p>他意見はないか。※) 意見なし</p> <p>次に、住宅についてお願いします。</p>
(2) 住宅		
	白石尚寛委員	<p>市営老朽住戸の適正管理を数年来、要望しているがなかなか進んでいない。ぜひ取り組んで欲しい。</p>
	菅公逸委員	<p>人口減少傾向にあるが世帯数は未だ上昇傾向にある。家族構成が変化中、入居者ニーズに沿った公営住宅を整備するため、家族構成比率を考慮し現有公営住宅のタイプがその比率とマッチしているか検討・改修すると共に、新規整備には借上げ公営住宅制度を積極的に活用してはどうか。他市では事例もあり、民間で建てた物件を公営住宅として借り上げる制度を検討して欲しい。</p> <p>また、民営賃貸住宅の空室率が上昇しているが、民営賃貸住宅の空室率推移及び持ち家率推移を示して欲しい。公営賃貸住宅の存在自体が民営賃貸住宅所有者の事業活動を圧迫しつつあるが、民業圧迫とならないよう公営住宅を整備し、単身世帯等を主体とした借上げ公営住宅制度を推進してはどうか。</p>
	白石尚寛委員	<p>空き家対策として、空き家をリノベーションして貸し出す仕組み作りや、公共施設の未使用物件や空間を民間へ情報提供し、有効活用する仕組みを整備し、スペースの活用を進めて欲しい。</p>
	菅公逸委員	<p>外国人技能実習生等を主体に住宅需要が高まっているが、これに限らず住宅確保用配慮者の住宅が不足している。民間賃貸住宅を主体に部屋を探しても合致する物件数が不足しており、合致すると思われる空き家の流通もなされていない。空き家は住宅確</p>

		<p>保用配慮者にとって住み替えしやすいと思われるが流通が図られていない。外国人技能実習生等や市外から流入する入居希望と合致する物件を増やし、空き家バンク等と地元業者が連携しマッチングが図れる体制を整備して空き家対策を推進してはどうか。</p> <p>空き家バンクは、実際には不動産業者が斡旋しなければならないが、1社だけには提供できないため、団体としての対応が必要。地元不動産業者で構成する組織と空き家バンクがマッチして空き家の減少を図れないか。</p>
	宮崎秀俊委員	<p>取組内容が抽象的で具体的にどうするのかかわからないが、いずれにしろ関係団体との協力が必要。</p> <p>空き家対策は、若者が集まりやすく高齢者も住みやすいまちづくりを推進するためにも、複数棟空き家が並んでいる箇所は更地にして跡地を有効利用してはどうか。地震発生時に倒壊してどうにもならなくなるより更地にして、避難場所や公園等に活用できないかと考える。防犯、安全の観点からも空き家が少なくなると見晴らしが良くなる。</p> <p>また、建築士会は戸建て住宅の耐震診断の調査をしているが、時間がかかり途中でやめたり、高齢で亡くなったり、独居老人も多く改修まで至っていない。診断しても改修まで至っていないものも多く、多少でも費用が掛かるとなれば子供と同居するとか新居浜を離れる方も多い。改修して倒壊を防ぐとか、転居すれば空き家になるなど、より具体的な長所短所の広報が必要。県建築士事務所協会は定期的に各市を回って耐震診断・改修の案内をしている。</p>
	建築住宅課長	<p>耐震診断については、平成28年より耐震診断派遣制度を開始し、住宅所有者の負担軽減を図っている。改修工事についても平成26年度に補助率なしの上限90万円に増額し、平成27年より開始した部分改修補助については、平成31年に補助額の上限を40万円に引き上げた。また、耐震診断を行いながら耐震改修設計を並行して行える総合診断を取り入れることにより時間の短縮を図っている。</p> <p>啓発活動については、平成25年度より戸別訪問、出前講座を行っており、今年度も戸別訪問300件程度、出前講座も3回行う予定。</p>

		<p>耐震診断を実施済みだが、未改修工事が約180件（全体の約65%）あり、直接電話連絡等をして耐震改修工事の依頼も行っている。</p> <p>今後とも、利用しやすい補助制度等を検討し、耐震化の促進に努めていきたい。</p>
	白石座長	<p>菅委員の「民業圧迫」は、公営住宅とは意味合いが違うような気がするが。白石哲也委員の「子育て世代から高齢者まで安心して住める」という意見からすると少し違うのでは。</p>
	菅公逸委員	<p>民間で建てた物件を公営住宅として借り上げるということ。他市町村では事例も多くあり、推進しているのではないかと。借り上げ公営住宅制度でコンパクトシティを成し遂げたところもある。民間の物件を公営住宅として借り上げる大家も安心。</p>
	白石座長	<p>そうした運営は、民間はあくまでも利益追求のために建てるが、公的資金が入った住宅は補助を受けて生活を助けるという意味合いがあると思うが。</p>
	建築住宅課長	<p>公営住宅は生活困窮者に対して安く安全な住宅を提供する制度であり、国の補助を受けて建築している。白石尚寛委員の老朽化した市営住宅については、新築住宅を早々に建築できない中で、居住者には建て替えが終了した箇所への移転をお願いしているが、老朽化しても長年慣れ親しんで住んだ箇所に住みたいとの意見が多い。その場合は、居住者の意思を尊重しながら建替え計画を進めていきたい。</p> <p>空き家対策として耐震診断・改修があるが、個人財産であり、理解を得られるよう進めていきたい。</p>
	白石座長	<p>菅公逸委員から意見があった「情報を開示してもらえない」は全国的な状況であり、宅建協会がなかなか介入できないというところがある。</p>
	菅公逸委員	<p>情報を公平に出さないといけないということで、1業者だけには出せないとのこと。団体としては開示してもらえるので、団体として対応しなければならないが、宅建協会としての課題もある。</p>
	白石座長	<p>全国的には情報開示できないことで、老朽化した空き家が増えているのではないかと。</p>
	白石座長	<p>他意見はないか。※) 意見なし 次に、道路について願います。</p>
(3) 道路		

	白石尚寛委員	<p>11号バイパスの早期整備をお願いする。</p> <p>交通安全の観点から、信号切り替わりのタイミング等による交通の流れの悪さから渋滞が発生し、追突などの交通事故に繋がるケースもある。右折レーンや矢印式信号機及び車両感应式信号機への「感知中」表示等の設置、歩車分離式信号機の効果の検証をお願いする。歩車分離式交差点では信号待ち時間が非常に長いため、本当に効果があるのか検証して欲しい。</p> <p>また、慢性的な交通渋滞を何とかして欲しい。物流道路と一般道路が混在しており、交通事故が発生する可能性が高い状況にあることから、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金子中萩停車場線の整備促進（トンネルなど） ・国道11号線の渋滞緩和策の検討（時差通勤や乗入制限、オーバブリッジの建設など） ・市民の理解が十分に得られるよう説明会の開催 ・現状にマッチした都市計画道路整備 ・災害時の緊急輸送道路（ルート）の確立 ・新居浜駅周辺のアンダーパスやオーバブリッジ
	菅公逸委員	<p>市内中心部を大型貨物等の商用車と乗用車が混在して通行するため危険であり、幅員が狭隘なため追い越しや離合の際、支障をきたしている。大型貨物等の通行に適した道路を整備し、その分離を図ることで、新たに物流専用の道路を整備して欲しい。一般車両と分離しないと安全確保はかなり難しい。</p> <p>工場が集積している沿岸地域に貨物主体の道路を県道・市道の入替等も視野に入れて整備し、双方の安全確保を図ることを考えてはどうか。</p>
	福本頼幸委員	<p>都市計画道路の進捗が非常に遅い。</p> <p>上部東西線は治良丸から大生院が未だ遅れている。治良丸、且ノ上等は南北の道路は農道を含めて3本程あるが、東西の道路がない。緊急車両が来るまで2時間くらいかかる。1年程前は、田から農道へ出た際、トラクターが川へ転落し、救急車を呼んだが通れず、2時間くらい経ってやっと来た。災害も含めて早急に整備して欲しい。</p>
	杉原弘紀委員	<p>工場周辺の道路は、朝夕に出勤者等による渋滞で近隣住民に非常に迷惑を掛けている。</p>
	白石座長	<p>金子中萩停車場線など事業中の道路も含め、現在</p>

		<p>の計画道路が全て完了することによって通勤時間等の短縮にも繋がる。</p> <p>11号バイパスが完了していないことや、福本頼幸委員の意見にあったが上部東西線も5年を目途と言っていたのでは。</p>
	道路課長	令和6年までの7年間を目途に頑張っている。
	白石座長	<p>これらが全て開通することと、物流専用道路や子供が安全安心して通学できる道路。市内各地にはなかなか難しい道路が多くあるということです。</p> <p>橋梁について質問がある。国領川で敷島橋が唯一整備されていない橋梁である。かなり老朽化しており、架け替えなければならないのではないかと。</p>
	道路課長	<p>法律で定められているとおり5年に1回点検しており、修繕しなければならない箇所もある。架け替えせず修繕しながら延命することは不可能ではないが、同時に耐震補強もしていかなければならない。敷島通り全体の整備をどうするかも含めて検討しているところ。県事業で施行できないか、橋幅を広げるのであれば架け替えなければならないし、耐震化をするなら耐震補強と補修、延命措置をするなら架け替えざるを得ない可能性もある。これまで新高橋、平形橋、城下橋を県で架け替えたが、特に平形橋は県道に変更して、架け替えてもらった。その代替えとして新高橋を市が補修することになった。</p> <p>単純に補修のために中途半端な費用を掛けることはできないと考えており、これらを踏まえて耐震化と市域内幹線道路の整備を考えていきたい。</p>
	白石座長	できることであれば県事業で実施をお願いします。
	道路課長	協議が調えばよいが、県の認定にも基準がある。
	白石座長	新居浜市への県事業量は県下ワーストワン。是非県事業で実施して欲しい。税収が生まれる地域としては大事な橋の架け替えなので。
	道路課長	どのように話をするかは戦略を考えていくべきと考える。その際には意見を聞かせていただきたい。
	白石座長	<p>是非お願いします。</p> <p>他意見はないか。※) 意見なし</p> <p>次に、港湾・河川についてお願いします。</p>
(4) 港湾、河川		
	白石尚寛委員	施設の地震対策とマリパークの活性化が必要。

		<p>また、河川の豪雨対策や地震対策が河川全般に施されていない。メンテナンス工事や耐震工事等が実施されていない。堆積土砂対策や取水塔及び放流口を新設することが挙げられる。</p> <p>鹿森ダムの堆積土砂が増えて大変危険。搬出先の確保ができておらず頓挫している。受入先の協力をお願いしたい。</p> <p>豪雨対策、土砂災害の危険箇所対策に対し、地図混乱地域等が解消できていないという意見があるが、県・司法書士・土地家屋調査士等と連携して解決して欲しい。</p>
	白石哲也委員	<p>大雨が降った際、ここからは水路があるから危ないと分かっているにもかかわらず通行する車両がある。特に学校周辺は路肩ポール等の安全対策を急いで欲しい。</p>
	菅公逸委員	<p>港湾について、中学生が職場体験で来た際、港務局制度が日本で1つであることをいつも聞くが誰も知らない。日本で唯一の制度であり、本市の特徴として教えることや、制度の成り立ちの啓蒙活動をしなないと港務局の存在価値がなくなる。港務局に関する事項を記載して欲しい。</p>
	港湾課長	<p>港務局制度は、元々新居浜港が住友企業の港であったことが始まり。教育関係部署とも連携しながら、ホームページ等を含めアピール方法を検討していきたい。</p> <p>白石尚寛委員の「地震対策」については、黒島に耐震岸壁が出来ている。また、橋梁は5橋があるが、そのうち2橋は令和2年を目途に耐震化を完了させる予定。残る3橋は現時点では未定。</p> <p>マリパークは、指定管理者制度を導入した結果、年間10万人以上の利用者で賑わってきた。クルーズ船等のイベントにも取り組んでいきたいが、東港には大きなクルーズ船は誘致できず、1万トン級の200人くらいまでのクルーズ船の寄港を目指している。船主の商談会にも参加して誘致し、経済効果があるような運営に取り組んでいくよう努力しているところである。</p>
	白石座長	<p>河川・港湾に関しては様々な意見があったが、その中で防災減災やそれに基づく鹿森ダムの意見がある。この先10年を見据えた政策の中で、できるこ</p>

		<p>とであれば早期に対応することによって昨年全国各地で発生した河川の氾濫等、起きてしまった後の被害からすると、起きる前に対策を行うことは絶対に必要。長期総合計画の中に安全安心という意味で、早期の対応をお願いする。</p>
	福本頼幸委員	<p>河川について、先日土地改良区や宅建業者等の方と中谷池の水利権者とで、中谷池を埋め立てる第1回協議を開催した。建設業協会が主体となって計画していると聞いたが、市が主体にならなければ進まないのではないか。建設業協会と市が連携し、市がもっと積極的に対応しなければ進まないと思う。</p> <p>地権者も市に対しては反対の意見を言いにくいですが、建設業協会には利害関係がないから平気で言う。もっと市は本気で考えて欲しい。</p>
	白石座長	<p>建設発生土処理施設ということで、ぜひ市も。賛同していないということではなく、問題を克服しながら進めることで、これまで出た課題解決が見えてくる。</p> <p>ダムの土砂撤去については、処分先がないため、毎年溜まる分のみ搬出する状況である。50年以上も撤去したことがなく、毎年溜まるであろう1年分のみ搬出しており、安心安全という話ではない。</p> <p>土砂処理施設も、行政と建設業協会が連携して行う事業として、その方向で進めていきたいと考えている。</p>
	白石座長	<p>他意見はないか。※) 意見なし</p> <p>次に、下水道についてお願いする。</p>
(5) 下水道		
	白石尚寛委員	<p>施設の更新・メンテナンス時期を明確にする必要があるのではないか。メンテナンス・更新工事に民間活力を導入することや、マンホールの浮き上り防止策に取り組むことを。</p> <p>豪雨対策に向けた方針として、貯留池の新設や排水ポンプの設置を図って欲しい。</p> <p>新規事項として、合併処理浄化槽に関して、まだ行き届いていないところがあり、高額な設置費用を負担し、多額の年間維持費が掛かっている。他市では新築時に一定の補助がある中、市としても助成していただければと思う。</p>

	福本頼幸委員	市全域で下水道の整備はどのような状況か。
	下水道建設課長	人口普及率で全体の63.2%、人口約11千人に対し約7万5千人に普及している状況。全体面積比では約60%。あくまで市街地から整備しており、今後は、周辺部に広がっていくため、事業費に対する普及率の伸びは見込めない状況。
	白石座長	他意見はないか。※) 意見なし 次に、上水道、水資源について願います。
(6) 上水道、水資源		
	白石尚寛委員	施設の更新・メンテナンス時期を明確にする必要がある。震災・豪雨等の自然災害対策の最適化・効率化を図るとのことと、給水車の運行などを含む応急給水等をして欲しい。
	菅公逸委員	どの分野に該当するかわからないが、上下水道事業と共にライフラインの一翼である電気事業の自由化が始まり2020年4月から発送電分離がスタートする。現況を表すデータとして、自治体の出資する地域新電力一覧を示して欲しい。 また、課題として、災害時等有事の際の水道使用の電源確保がなされておらず、電気使用料金も市外へ流出している。主に四国電力へ支払っていると思うが、4月からは自由化される。四国電力＝高松市に支払っている電気使用料金を食い止めることが可能となるため、地域新電力を考えて欲しい。 電気の「地産地消」が図れるよう「地域新電力（自治体新電力）」の可能性を考察しライフラインのレジリエンスを向上させると共に、ライフライン全般での収支バランスを図り、電気料金を通じて新たな税収を得ることで、電気料金の市外流出を防ぐべきと考える。また、自治体出資の先進地域新電力を研究し、将来の「シュタットベルケ」創出も視野に入れた新たな収益源を検討しレジリエンス向上に努めることで、既に取り組んでいる自治体もあることから、最適な取り組みを検討して欲しい。 相当の年間電気料金を支払っていると思う。電気料金に係る税収確保の観点からも考えて欲しい。
	石水浩臣委員	水資源について、現在、地下水を水源として給水しているが、災害時に水が濁る・水が出ない等の不測の事態に備え、国領川水系の表流水を取水し、浄

		<p>化して利用できるような施設を建設してはどうか。</p> <p>漏水調査について、現在、2年に1回漏水調査を実施することで、2年で一巡、半分半分で市内を網羅する体系になっている。有収率を上げるとともに、早期に漏水を発見するためにも、年間を通して毎年全区域を調査できる体系にしてはどうか。</p>
	白石座長	<p>災害時の不足の事態に備えての表流水の取水は、河川の表流水ということか。</p>
	石水浩臣委員	<p>そのとおり。現実的には難しいかもしれないが、生きている水である表流水を使うことを考えた方が良いのではないかと考える。</p>
	水道工務課長	<p>「更新・メンテナンス時期を明確に」については、アセットマネジメントの中で計画を提示しており、3年から5年くらいで見直しをすることになっており、これに基づき進めていきたいと考えている。</p> <p>災害時の給水システムについては、他市の対応を参考にしながら検討している。災害時は、水道施設も被災するが、それらも含めて検討していきたい。</p> <p>電気料金については、どのような形で供給してもらおうか等も含めて今後検討していきたい。</p> <p>表流水については、当然飲用水に使用することを前提として考えている。災害時は飲用だけでなく、それ以外の用途も必要であり、濁った状態での利用の可能性については今後検討していきたい。</p>
	白石座長	<p>他意見はないか。※) 意見なし</p>
議事2 その他		
議事2	白石座長	<p>議事2 その他として事務局の説明をお願いする。</p>
	事務局	<p>次回会議までの流れの説明及び次回日程等案内</p>
閉会	白石座長	